コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

No.32　2016年 4月号

倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
〒712-8024 倉敷市水島北春日町4番3号
TEL 086-444-3212
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-446-6541

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

カラー紙面 第1号記念

コープリハビリテーション病院 歯科連携強化へ

水島歯科診療所　所長　辻　重真

辻 重真所長

現在、水島歯科診療所はコープリハビリテーション病院と交差点を挟んで立地しています。したがって、病院に入院されている患者さんで歯科治療の必要な方は、すぐ歯科に来ていただける状況ですが、病院の新築移転後は、歯科との距離が遠くなり、不便になることが予想されます。でも、安心してください。新病院の外来部門の一角に、歯科診療室の開設が検討されています。

予定では、診療ユニット2台、レントゲン装置も内科レントゲン室の一角に設置できるように検討されています。入院・入所されている方々に必要な歯科治療や口腔ケアを、迅速かつ安全に行うことができるようになります。また、要望があれば、外来でこられる患者さんの歯科治療にも対応していきたいと考えています。

今後の医科歯科連携の新しい展開にご期待ください。

水島歯科診療室の風景

―― 建設の状況 ――
鉄骨工事が始まりました

訪問リハビリの紹介

青木　麻紀

老健あかね訪問リハビリでは、現在要支援2～要介護5までの44名の利用者様がおられます。介護度も様々であり、利用者様の状態や自宅環境・生活背景などに応じてリハビリを実施するので個別性が高く、ひとりひとり異なります。

病気をして入院後、久しぶりに退院して自宅に帰る際は、利用者様も家族も「帰っても家でちゃんと生活できるかな?」という不安があったり、「大丈夫と思ったけどこんなに大変とは思わなかった。」という事があります。その際訪問リハビリでは、自宅での動作の仕方や手すりの使い方、介護指導などを行い、安全に生活が出来るよう支援させていただきます。その他、身体機能訓練以外に近所のスーパーまでの歩行訓練や買い物訓練、入浴・排泄などの身の回りの動作訓練、段差昇降訓練などその方の暮らしに合った具体的な動作に対して必要な訓練を実施しています。実際に「買い物に行ける様になった。」「家事が少しずつできる様になった。」「家族の介助でお風呂に入れるようになった。」と目標を達成され、訪問リハビリを終了した利用者様もたくさんおられます。

自宅までの昇降訓練

また、自宅で生活される利用者様の中には病状が重度で不安定な方も多いのが現状です。その場合にも病状に合わせて継続的なリハビリを行い、動作指導や必要な福祉用具・住宅改修の検討、自分で行える運動の指導などを行っています。

現在、理学療法士・作業療法士の他、言語聴覚士もおり、飲み込みの悪い方の食事のアドバイスや訓練も行ったりと多職種で関わっています。生活の場に伺ってリハビリを行うので、困っていることや危ない事にすぐ対応できるのが特徴であり、利用者様が安心・安全にその人らしい在宅生活が継続できる様に引き続き支援していきたいと思います。

老健あかね　訪問リハビリ
作業療法士　青木　麻紀

卒2研修事例検討発表会　当院の取り組みを中心に

浦上あすか

昨年12月18日、水島協同病院にて卒後研修の一環として事例検討発表会が行われました。今回、私は「ＩＣＦでみる癌患者のリハビリテーション看護」という題名で、当病棟に入院されていたＡ氏の事例を検討し、発表させていただきました。

当院の回復期リハビリテーション病棟では、脳血管疾患や骨折、肺炎後等のリハビリを目的として入院治療を必要とされる方が入院されます。「リハビリの病棟」と聞くと、骨折や脳血管疾患でのリハビリをイメージされる方が多いと思います。しかし、リハビリを必要とする原因の病気のみならず、患者様が以前から抱える他の疾患や生活歴、社会像など患者様が関わるすべての事柄を理解し、日常生活の援助や看護を実施しています。また、患者様にとって私たち病棟スタッフの看護援助だけではなく、ご家族のサポートも大きな力となります。そのお手伝いをすることもリハビリテーション看護のひとつであり、大きな意味を持つことを再認識できました。

今回の事例検討発表会を通して、リハビリテーション看護の必要性、患者様の「参加」「活動」に着目した看護介入の意味を見出すことができました。今後も様々な疾患を有する患者様と関わる中で、今回の学びを日々の看護ケアに生かしていきたいと思います。

コープリハビリテーション病院
2病棟　看護師　浦上あすか

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。